



平成28年6月5日

健康福祉部健康増進課感染症対策グループ  
担当者 前川、野路、上藤  
電話番号 0776-20-0351  
県庁内線番号 2623、2625

報道機関各位

## コレラの発生について

### 1 概要

平成28年6月4日午後4時10分頃、丹南健康福祉センター管内の医療機関から同センターに対し、コレラ患者の発生届出があった。

このため、丹南健康福祉センターは、患者の健康状態、行動等についての調査を実施した。

### 2 患者等の状況

- (1) 患者 丹南健康福祉センター管内の女性（20歳代） 1名
- (2) 発症日 平成28年5月26日
- (3) 初診日 平成28年5月31日
- (4) 入院日 入院はしていない
- (5) 便検査実施日 平成28年5月31日 / 結果判明日 平成28年6月4日
- (6) 主な症状 下痢
- (7) 現在の状態 症状は回復している
- (8) 海外渡航歴 有（渡航先：東南アジア 帰国日：平成28年5月31日）

### 3 感染源、感染経路 渡航先の東南アジアでの感染

### 4 発生に伴う対応

丹南健康福祉センターにおいて、次の措置を実施した。

- ① 本人の健康状態、行動および喫食状況を調査
- ② 接触者の調査、本人への衛生教育の実施
- ③ 自宅等の消毒の指示

### 5 接触者の状況

8名 症状なし

### 6 近年のコレラ発生状況

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年 (5月22日まで)
全国	12	3	4	5	7	1
福井県	1	0	0	0	0	0

※平成11年以降、福井県内では、平成12年に1件、平成16年に1件、平成23年に1件の発生がある。(海外での感染)

### 7 コレラについて ※三類感染症（O-157、細菌性赤痢等）

- ・病原体：コレラ菌。
- ・潜伏期間：数時間～5日、通常1日～3日。
- ・主な感染経路：流行国でコレラ菌に汚染された飲食物を経口的に摂取して感染する。
- ・主な症状：多くは水溶性下痢。重症例では激しい嘔吐を繰り返す。胃切除を受けた人や高齢者では重症になることがあり、まれに死亡する。

#### [予防方法]

- ・コレラが流行している国（東南アジア、インド、アフリカ）では、生水・氷・生の魚介類（刺身・エビなど）は避けましょう。ジュースの中の氷や氷の上に飾られていたカットフルーツで感染した例やプールの水を誤って飲んで感染した例も報告されています。
- ・不衛生な食品・生の食品などの摂取を避けることがまず重要なことですが、無理な旅行日程などによって体調を崩すことがないよう心掛けることも大切です。